

日本学術会議 土木工学・建築学委員会
第 24 期・第 8 回議事要旨

日 時：平成 31 年 2 月 21 日（木）10:00～12:10

場 所：日本学術会議 5 階 5-C(1)会議室

出席者：米田雅子、前川宏一、小林潔司、田辺新一、磯部雅彦、小池俊雄、池田駿介、嘉門雅史、木下勇、小松利光、内藤廣、望月常好、吉野博、依田照彦、和田章、桑野玲子（順不同、敬称略）

配布資料

資料 1 前回（第 7 回）議事要旨

資料 2 各分科会報告等

資料 3-1 土木工学・建築学委員会全体会冊子表紙（平成 30 年 5 月 21 日）

資料 3-2 2019 年度土木工学・建築学委員会全体会仮案

資料 4-1 提言（案）「免震・制振のデータ改ざん問題と信頼回復への対策」

資料 4-2 公開シンポジウム「免震・制振データ改ざんの背景と信頼回復への道筋」事後報告書等

資料 5 学術フォーラム「平成 30 年夏に複合的に連続発生した自然災害と学会調査報告」ポスター

資料 6-1 環境工学連合小委員会現委員及び新規委員名簿

資料 6-2 公開シンポジウム「第 32 回環境工学連合講演会」ポスター

資料 7 公開シンポジウム「繰り返される災害-少子高齢化の進む地域で生き抜くということ-」ポスター

参考 1 委員名簿

参考 2 土木工学・建築学委員会分科会リスト

議事：

1. 前回議事要旨の確認

資料 1 を用いて第 7 回委員会の議事要旨を確認した。

2. 分科会報告

- ・資料 2 を用いて、あるいは口頭で、各分科会の活動状況が紹介された。

IRDR（小池）、資料 7 のポスターのシンポジウム、気候変動と国土（望月）、長寿・低炭素（田辺）、インフラ高度化（小林）、都市地域とデザイン（内藤）、低頻度巨大災害（磯部）、次世代構造システム（前川）、WFEO（小松、池田）、こどもの育成環境（木下）、IUTAM（前川）

- ・各分科会にて種々の重要な議論がされているので、それらを丁寧に議事録に残して HP で公開することが望ましい。（和田）
- ・IRDR 分科会の関連報告として、資料 7 の公開シンポジウム、繰り返される災害－少子高齢化の進む地域で生き抜くということ－（2019 年 4 月 5 日）の紹介があった。（小池）

3. 2019 年の土木工学・建築学委員会の全体会について

- ・依田委員より資料 3 を用いて 2019 年度全体会（5 月 20 日午後）の説明があり、資料 3-2 の原案が承認された。
 - ・基本的に昨年と同様の構成とし、基調講演、分科会報告、活動報告等の後、意見交換会を開催する。
 - ・基調講演は田辺委員（長寿・低炭素分科会報告を包含した内容）、磯部委員（二段防災について）にそれぞれ 20 分ずつお願いします。
4. 免震・制振データ改ざん問題の提言について
- ・和田委員より資料 4 を用いて提言案について説明があり、以下の修正を踏まえて承認された。
 - E-ディフェンスの大型振動台は、提案している大型試験設備の機能を有するものではないことを加筆する。
 - 提言 3-(4)で言及している“公開シンポジウムの開催とアンケート結果にみられる提言実現への期待”については、なお書きで参考情報として入れる。
 - ・最近、日本の技術の信頼性を揺るがすような事象が頻発している。個々人の技術者倫理のみならず組織問題と捉える必要もあり、学術会議としても危機感を持ち注視すべき課題である。（内藤）
 - ・今後、学術会議の査読で修正箇所が出てくると思われるが、委員長に一任することが了承された。
5. 防災減災学術連携委員会のシンポジウムの共催について
- 「平成 30 年夏に複合的に連続発生した自然災害と学会調査報告」2019 年 3 月 12 日
- ・依田委員より資料 5 を用いて紹介があった。既に満席であるが防災学術連携体の HP にてインターネット配信を予定している。
6. 環境工学連合小委員会の委員の辞任・新任
- ・米田委員長より資料 6 を用いて説明があった。本小委員会は環境工学連合講演会の幹事学会からの選出委員で構成されている。
7. 手当と旅費の問題
- ・米田委員長より学術会議の予算状況について説明があった。委員会や分科会を 70%の出席率を見込んで手当や旅費を計算すると、1 回分開催の予算しか確保されていない。
 - ・現状では、手当と旅費は相互融通できず、最低限の旅費分を確保するための（手当を辞退して旅費に回すなどの）柔軟な対応ができない。
8. 今後の予定、その他
- ・吉野委員よりアジア学術会議（2018 年 12/5-7）の紹介があった。次回はネピドー、ミャンマーにて 2019 年 12/4-6 に開催予定。
 - ・次回 全体会 2019年5月20日（月）13:00-17:00（土木工学・建築学委員会を兼ねる）

以上